



私がCoとして意識していること(受検促進)

- 肝炎患者の身近な人に肝炎検査を受けてもらう
- 患者を含めて一般の人は肝炎ウイルスについて知識不足

↓

患者背景やニーズを聞き
情報提供・受検促進をする

これをやればあなたも肝炎Co

ウイルス性肝炎指摘

↓

同居の人に
肝炎ウイルス検査を勧める

専門外来看護師 (病院) の役割

●業務に+α (ひと工夫) 編●

- 問診時に、検査歴の確認
→陽性者には治療歴も確認して受診勧奨
- 肝炎患者家族にも検査を勧める
→受けやすいように情報提供・ツール提供
- 非専門科の入院前検査等で陽性とわかった場合
→治療歴等なければ、専門医への受診勧奨

専門外来看護師 (病院) の役割

●患者コミュニケーション編●

- 「肝臓の仕事をしている〇〇です」と自己紹介
- 「指導する」という意識は持たない
- 「受検⇒受診⇒受療」の次のステップに進めずにいる患者の気持ちを聞き取る



症例①：整形外科のOPE前検査にてHCV抗体(+)

【年齢・性別】 30歳・男性

【経緯】 骨折にて整形外科受診。OPE適用となりそのまま入院となる。OPE前検査の感染症スクリーニング検査にてHCV抗体(+)を検査室で確認。

OPEが終わった以降も「受検」で止まったまま治療歴も無い事から、主治医に精査を提案した。

私がCoとして意識していること(受診促進)

内科以外の科では『受検』で終わってしまうこともある

↓

臨床側に精査をしてもらう
または内科にコンサルタントするよう働きかける

**陽性患者をフォローアップ
受診(精査)をうながす取り組み**

これをやればあなたも肝炎Co

最初にデータに触れるのは
臨床検査技師

↓

**陽性患者をリストアップして、
「受診」しているかフォローする！**

臨床検査技師の役割

【受検、受診、受療】

- 採血などの検査時に患者さんへの声かけ

【受診】

- 臨床側（特に非専門医など）に精査を促す

【受療の支援】

- 患者さんへの検査結果の説明